

2012年12月17-20日

2012年度 VLBI 懇談会シンポジウム in 情報通信研究機構本部 (小金井)

2012年度 学生セッション報告

名越遥 (山口大学) 他学生セッション参加者一同

1. はじめに

2012年度 VLBI 懇談会シンポジウム期間中の12月17・18日に開催した学生セッションについて報告する。

2. 学生セッション開催の経緯

学生同士で研究について気軽に議論する機会が欲しいという声をきっかけに VLBI 懇談会に参加する学生有志による活動を開始し、過去に「学生 V 懇シンポジウム」という研究会を開催してきた (表 1 参照)。しかし、会場確保が難しいため、解決策として VLBI 懇談会シンポジウムの学生セッションとして開催することを役員会に提案・承認を得て、今回の開催となった。

表 1 過去の研究会開催歴

年	内容	場所	日時
2008	学生 V 懇シンポジウム	岐阜大学	V 懇シンポ前日
2009	学生 V 懇シンポジウム	天文台 水沢	V 懇シンポ前日
2011	ミーティングのみ	大阪府立大学	V 懇シンポ期間中

3. 学生セッションについて

学生セッション開催の趣旨は以下のとおりである。学生が主体の研究会を開催する事で、発表の敷居を下げて多くの学生が研究発表を経験できる機会となるだけでなく、学生同士の活発な討論の場とすることができる。また、学生の意見を集約して VLBI 懇談会に提案することができる。

4. 開催概要

学生セッションは VLBI 懇談会シンポジウムの期間中 12月17日午後~12月18日午前の2日間で開催された。発表はセッションごとに分けられ、1日目は装置セッションと AGN セッション、2日目はメーザセッションを行った。発表時間は質疑応答込みで 10分、20分、30分の中から発表者が事前に選択できる形をとった。今回の参加者は7大学から (内訳は図1参照)、計22人のうち15人が口頭での発表を行った。今年の参加者は過去2回の有志開催の研究会に比べて約2倍となった。また、今回の学生セッション参加者全員が VLBI 懇談会シンポジウムに参加して講演を行っており、VLBI 懇談会シンポジウムへの学生参加者の増加という形で貢献できた。

研究会の講演内容としては主に、装置、AGN、メーザであったが、偏ることなく非常によいバランス (内訳は図2参照)であったと言える。基本的なことから各々の研究内容を発表することにより、質問や意見

が活発に飛び交う場となった。また観測においても、単一鏡、結合型干渉計、VLBI までと、幅広い観測手法の発表が行われた。

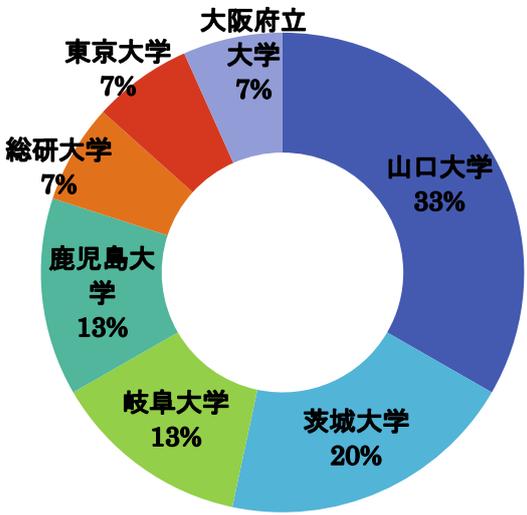


図 1 参加者内訳

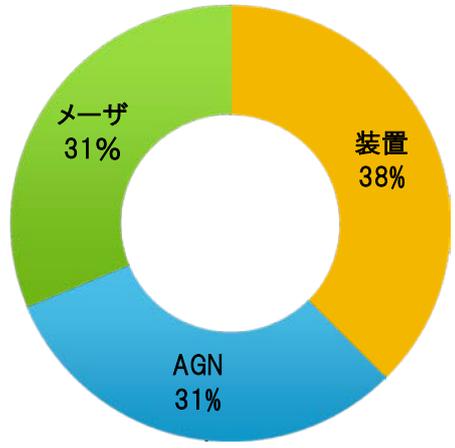


図 2 講演内容内訳

5. 学生セッションのふりかえり

今回学生セッションが終わった後、参加者全員にアンケートを行った。その結果をもとに、学生セッションについてのふりかえりを行った。

○ 学生セッション参加の経緯など

学生セッションを知った方法として、VLBI 懇談会メーリングリストを見て知った参加者は一人のみで、多くの参加者は知人づてで知ったという結果となった。参加動機としては、「他大学の学生と交流」や「プレゼン練習」「研究自慢」といった声が多かった。他に「(学生セッションの前身である学生 V 懇シンポを企画していた学生 V 懇グループの) 初代会長である杉山さんを尊敬している」といった声もきかれた。

○ 良かった点

学生セッションに参加したことで、「自分の研究紹介ができた」「プレゼンの練習になった」といった声が多く聞かれ、良い経験になったと答える参加者が多かった。また、「他大学の学生の研究を知ることができた」「自分の分野以外の研究を聞くことができた」といった、普段の研究生活では得づらい他大学の学生の研究を知ることができ、刺激となったという声も多く聞かれた。この他に、「本家の VLBI 懇談会シンポジウムでも口頭講演出来るくらいの人がいることが分かった」という声もきかれた。

○ 改善点

研究会開催に関する経験不足から、備品調達に関して不備があった。また、情報伝達に関して、主にメーリングリストに登録されていない学生への対応が不十分であった。学生セッションの申

申し込み様式を VLBI 懇談会シンポジウムの参加申し込みと合わせていたが、混乱を避けるために分けるべきという意見があった。

今回、実際に学生セッションを開催したことで分かった課題として、自分の研究で VLBI 観測を行ったことのない人は参加しにくいことが挙げられた。この他に、ポスターセッションの時間を設けることや開催期間の短縮などを検討してほしいとの声もあった。

○ その他意見等

学生セッションに対しては、学生のみセッションなので、もっと気軽に口頭発表や質問を行えると良いという意見が聞かれた。さらに、学生セッションの様子を動画で記録しインターネット上で公開してはどうかという提案があった。

今後の学生セッションの参加資格に対して、「今後も学生同士の討論の場としたいので、今後も学生のみ参加可能のほうがよいと思う」という意見があった。

VLBI 懇談会に対しては、「ポスターセッションの時間が短すぎる」「議論の際はマイク係を多く配置するべき」という意見があった。

6. 最後に

改善点等多くあったが、次年度も学生セッションを開催したい。

より多くの学生の参加を目指し、学生セッションの周知を行っていきたい。

今回、VLBI 懇談会シンポジウムの学生セッションを開催するにあたって、多くの方々に多大なる協力を頂きました。特に、LOC・SOCの方には大変お世話になりました。この場をかりて感謝致します。

